

平成22年度 第2回 東京都地方独立行政法人評価委員会 高齢者医療・研究分科会
議事概要

1 日 時

平成22年8月24日 火曜日 午後3時56分から午後4時17分まで

2 場 所

東京都庁第一本庁舎33階北側 特別会議室N2

3 出席委員

高久分科会長、河原委員、鈴木委員、内藤委員、南委員（分科会長を除き、五十音順）

4 議 題

平成21年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績評価について

5 議事概要

(1) 開会

○冒頭、分科会長より挨拶

(2) 平成21年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績評価について

○事務局より、前回分科会からの変更点（その後、委員から意見が出されて変更された点）を説明。（文部科学省科学研究費補助金の新規採択率において全国第4位の実績を上げたことを評価する旨の記述を全体評価に加える）

【質疑応答・委員意見】 ※太字ゴシックが委員意見

■評価のS（年度計画を大幅に上回って実施している）、A（年度計画を上回って実施している）、B（年度計画を概ね順調に実施している）等について確認。

（事務局説明）

⇒5段階評価の分布と、前回評価（案）の概要を改めて説明。

■血管病医療の取組として心臓外科を開設したこと、外来でのがん治療のため、外来化学療法室を開設して通院治療を充実したこと、それからCCU（冠動脈疾患集中治療ユニット）や脳卒中ユニットで重症度の高い患者でも対応できる医療を24時間体制で提供していること、また外部研究費を多く獲得していること、この4点が大きな業績であると考えます。

■医療と研究の一体化のメリットを生かし、成果と課題を共有するためのトランスレーショナル・リサーチ推進会議を設置したことは、評価されるべき点である。

○この「平成21年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター業務実績評価書」を、分科会決定の評価書とする。

○その他

【委員意見】 ※太字ゴシックが委員意見

■ここまで集約して高齢者の医療をやっているのは、国立長寿医療研究センターとこの東京都健康長寿医療センターだけであろう。東京都から、ぜひモデル的に、いい高齢者医療というものを発信してもらいたい。

■心臓外科を開設したことや、t-PAの治療（血栓溶解療法）や冠動脈疾患のインターベンション治療（体外から細い管を入れ詰まった箇所を治療する方法）を推進したことは、高齢者医療において非常に重要。三次救急医療機関では当然に行っていることであるが、それを高齢者医療において実施したことは大きく、目指す方向として正しい。21年度の実績として非常に高く評価されるべきである。

■地域別の患者数はどうなっているか。

（事務局説明）

⇒新規の外来患者は、6割が板橋区の住民であり、区西北部の患者がほとんどである。

（3）その他

○事務局より、今後の評価業務のスケジュールを説明。